

Coffee Market Report



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

January 2024

ICO複合指標価格は3か月連続で上昇し176.41セントに達した

- 1月のICO総合指標価格（I-CIP）の月次平均は176.41セント（米セント/ポンド、以下同様）で2023年12月から0.4%上昇した。中央値は173.90ポンド、価格レンジは171.08セントから185.54セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドは、1月にそれぞれ前月対比2.4%および3.5%下落し、205.62セントと203.30セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、-0.08 セントから2.32セントに拡大した。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された1月のアービトラージは、24.8%下落して47.22セントだった。
- I-CIPの1月のボラティリティは10.1%で12月から安定している。
- 2023年12月の世界の生豆輸出量は1,087万袋で前年同月の966万袋から12.6%増加した。
- アザーマイルドの12月の輸出量は146万袋で前年同月の122万袋から19.9%増加した。
- ブラジルナチュラルの12月の生豆輸出量は15.0%増の363万袋だった。
- コロンビアマイルドの輸出量は、2022年12月の104万袋に対して2023年12月は112万袋へ7.9%増加した。
- ロブスタの生豆輸出量は、2022年12月の424万袋に対して2023年12月は466万袋で9.8%増加した。
- 南米地域の12月の輸出量は25.4%増の572万袋だった。
- アフリカ地域の輸出量は、2022年12月の93万5,000袋から2023年12月は0.5%減少して94万袋だった。
- メキシコおよび中米地域の12月の輸出量は、前年同月の60万袋に対して6.0%増の63万袋だった。
- アジアおよびオセアニアの12月の輸出量は5.7%増の488万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの輸出量は、2022年12月の99万袋から2023年12月は25.7%増加し124万袋だった。
- コーヒーの総輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは2023年12月時点で9.3%で前年同時期の9.2%から増加した。
- 焙煎豆の輸出量は2022年12月の64,204袋に対し2023年12月は15.0%減の54,560袋だった。
- 世界のコーヒー生産量は、2022/23年度は0.1%増加し1億6,820万袋だった。2023/24年度は5.8%増加の1億7,800万袋と予測される。
- 世界のコーヒー消費は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた様々な問題の解消に向け対処を続けている。2022/23年度の消費量は僅かながら増加するとの予想だったが、実際には2.0%減の1億7,310万袋だった。しかし、2023/24年度は回復が予測されており、消費量は2.2%増の1億7,700万袋が見込まれている。
- その結果、2023/24年度の世界コーヒー市場の需給バランスは100万袋の供給超過と予想されている。

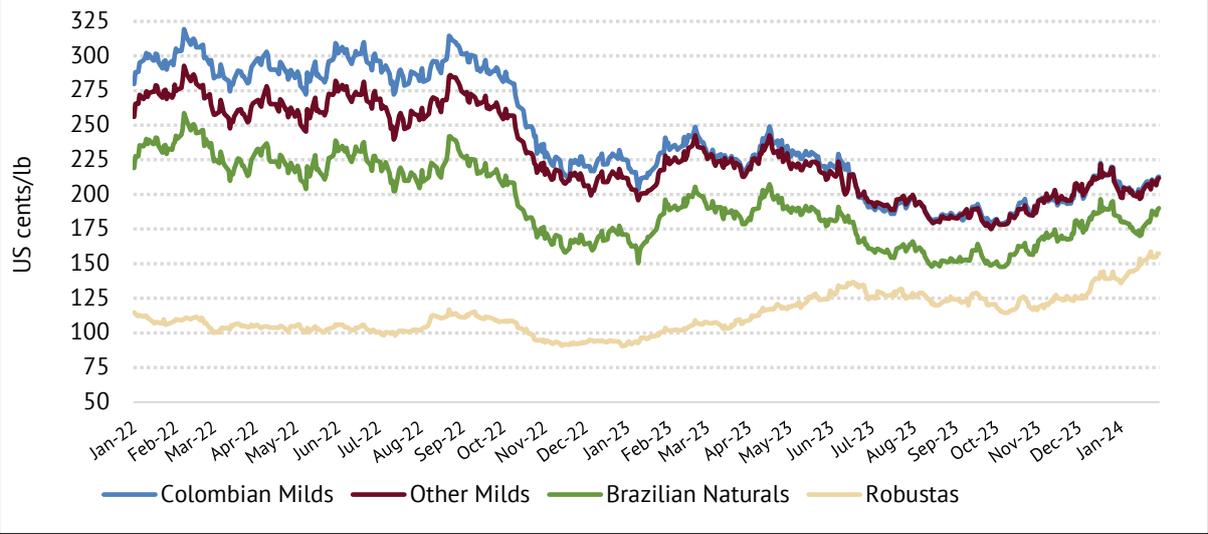
グリーンコーヒー価格

1月のICO総合指標価格（I-CIP）の月次平均は176.41セントで、2023年12月から0.4%上昇した。中央値は173.90ポンド、価格レンジは171.08セントから185.54セントだった。2024年1月のI-CIPは2023年1月のI-CIPを12.4%上回っており、12か月移動平均は166.85セントで着実な上昇を示して10カ月ぶりの高値に達した。重要なこととして、ロブスタ指標価格が1994年11月の153.33セント以来の高水準に達していることがある。



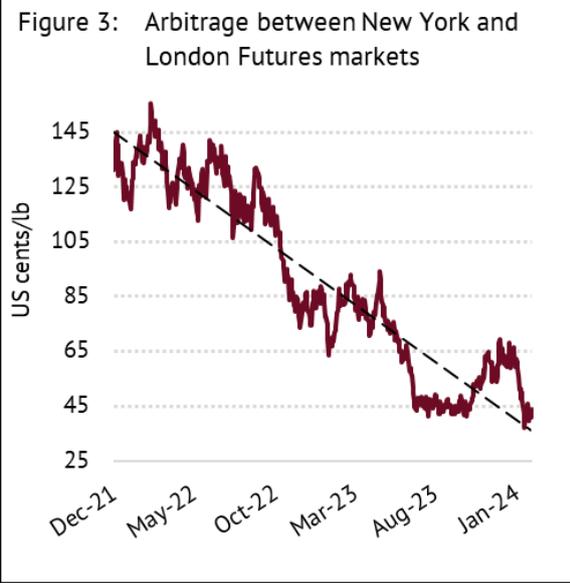
コロンビアマイルドとアザーマイルドは、1月にそれぞれ前月対比2.4%および3.5%下落し、205.62セントと203.30セント、ブラジルナチュラルは3.2%下落し179.32セントだった。一方、ロブスタは9.6%上昇して148.47セントと約30年ぶりの高水準となった。ロブスタ価格の上昇は、ICE（インターコンチネンタル取引所）在庫の記録的な低水準に因って支えられ、特にインドネシアとベトナムにおける供給状況に対する懸念が継続していることが背景にある。ベトナムでは、現地コーヒー業者が価格のさらなる高騰を期待して生豆の供給を控えており、これによりすでに逼迫している現地の供給環境がさらに悪化している。ICEのロンドン先物市場（ロブスタ）は1月も価格高騰を続けており前月比9.6%上昇して135.84セントとなった。一方、ニューヨーク先物市場（アラビカ）は1.9%下落して183.06セントだった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図 2: ICOグループ指標価格



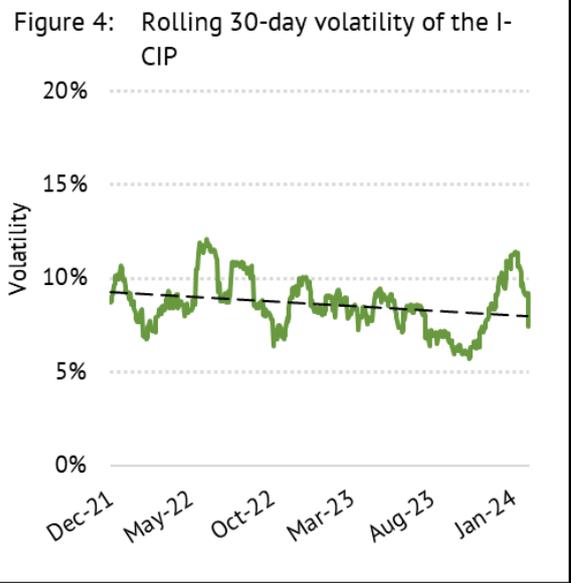
コロンビアマイルドとアザーマイルドの1月の価格差は前月対比、-0.08セントから2.32セントに拡大した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は3.3%拡大して26.29セントに、一方、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は24.0%縮小して57.15セントとなった。また、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は6.1%縮小して23.98セントに、アザーマイルドとロブスタの価格差は27.2%縮小して54.83セントに、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は38.0%縮小して30.85セントとなった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ



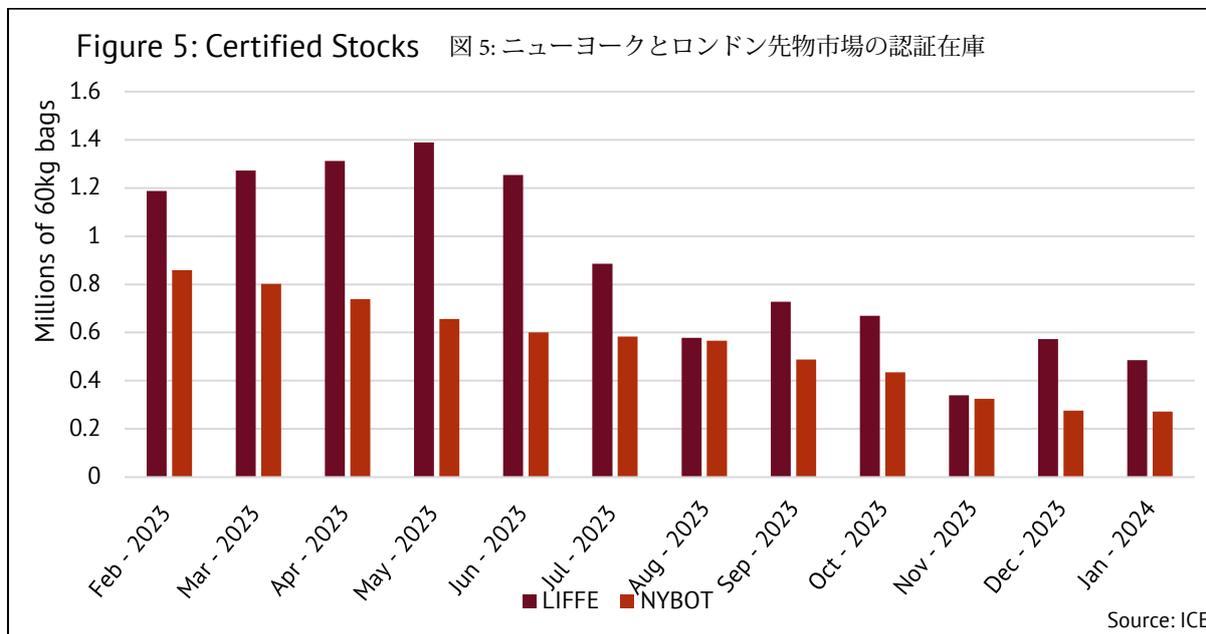
ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された1月のアービトラージは、24.8%縮小して47.22セントだった。

図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



I-CIPの1月のボラティリティは10.1%で12月から安定している。コロンビアマイルドとアザーマイルドのボラティリティはそれぞれ10.9%と11.9%に上昇した。一方、ブラジルナチュラルのボラティリティは0.4ポイント低下して12.2%だった。

ロブスタは9.9%だった。ロンドン先物市場のボラティリティは1.4ポイント上昇して11.4%に、一方、ニューヨーク先物市場はロンドンとは逆方向に動き13.0%に低下した。



ニューヨーク先物市場の1月の認証在庫は引き続き減少を続け前月比1.5%減の27万袋となり過去最低の水準となった。ロンドン先物市場のロブスタ認証在庫は15.4%減少し48万袋となった。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2023年12月の世界の生豆輸出量は1,087万袋で前年12月の966万袋から12.6%増加した。これは12月の輸出量としては過去最大で、2021年に記録された1,079万袋を上回った。

しかしながら、最近の生豆の輸出増加の大きさは基本的な需要量の反映というよりも、供給サイドの環境や条件が相対的に正常化してきたことを反映している。

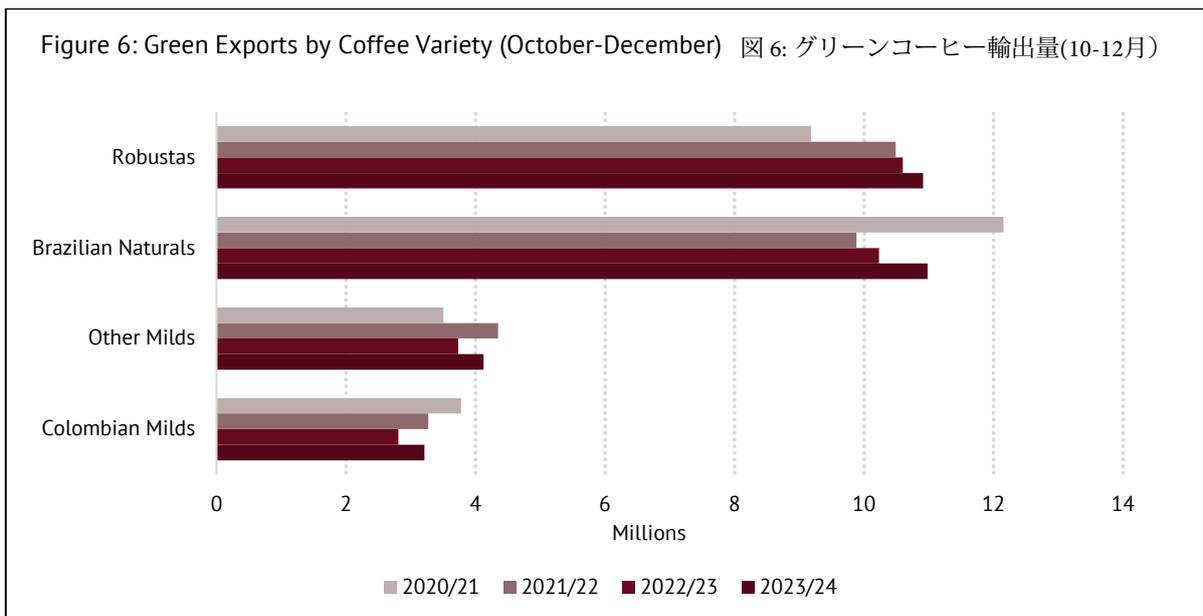
その結果、2023/24コーヒー年度の12月までの3か月累計は2,923万袋となり、前年度同時期の2,737万袋に対して6.8%増加した。

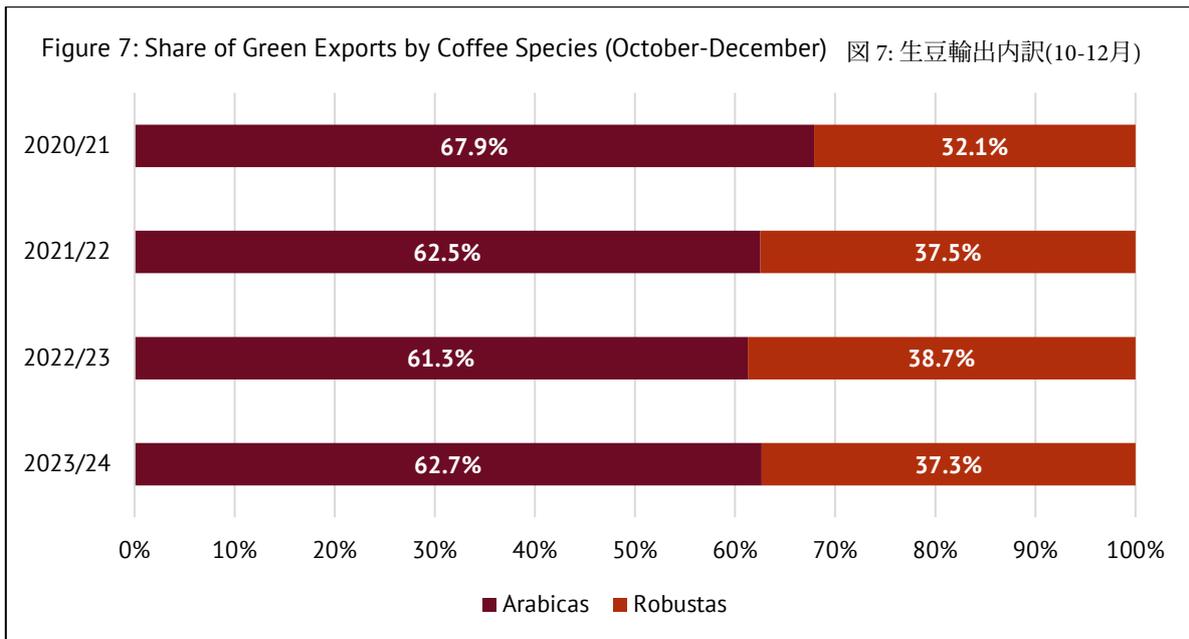
アザーマイルドグループの12月の輸出量は146万袋で前年12月の122万袋から19.9%増加した。ペルーとメキシコがアザーマイルドの二桁の輸出増加の原動力であり、2国の12月輸出量はそれぞれ48.3%と75.0%増加した。ペルーの輸出量の復活したのは、2022/23コーヒー年度の状況に比較して2023/24コーヒー年度の現地生産条件が正常に戻ったことによるものであり、メキシコの増加はプラスのベースエフェクト（Base Effect；前年度の大幅減少に対する反動増）を反映している。その結果、アザーマイルドの累計輸出量は増加し、2023/24コーヒー年度の経過3か月では10.5%増の412万袋となった（2022/23年度同時期は373万袋）。

ブラジルナチュラルグループの12月の生豆輸出量は前年12月に対して15.0%増の363万袋だった。2023/24年度の経過3か月累計は1,098万袋で、前年度同時期の1,023万袋から7.4%増加した。この急激な輸出量増加は、グループ最大の生産国かつ輸出国であるブラジルからのブラジルナチュラルの輸出量が19.3%増加し、2022年12月の270万袋に対して2023年12月には322万袋に増加したことが反映している。

コロンビアマイルドグループの12月の輸出量は、前年同月の104万袋から7.9%増加して112万袋、また、2023/24年度経過3か月の累計輸出量は、前年度同時期の281万袋に対して14.3%増加して321万袋だった。

ロブスタグループの生豆輸出量は、2022年12月の424万袋に対して2023年12月は9.8%増の466万袋だった。これは12月の輸出量としては、2022年に記録した424万袋を上回り過去最である。一方、累計輸出量は年度当初に8.8%減少したことが影響しており、2023/24年度経過3か月の累計では、前年度同時期の1,060万袋に対して2.9%増の1,091万袋に止まった。12月のロブスタ輸出量増加を牽引したのはブラジルだった（輸出量53万袋、806.2%増）。





域別の輸出量 - 全形態

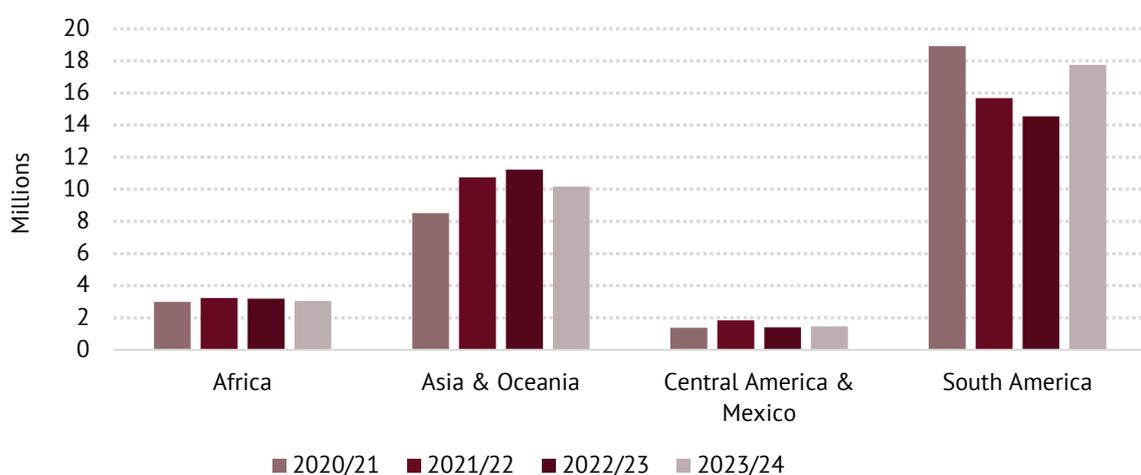
南米地域の12月輸出量は、前年同月対比25.4%増加し572万袋だった。大幅増加の要因はブラジルとペルーで、12月輸出量はそれぞれ31.7%と48.3%増加した。ブラジルについては2022年12月の-20.5%の大幅減少に対する反動増、およびアジアとオセアニアでの継続的な供給上の問題が二桁成長の背景にある。特にロブスタに関しては、ここ数カ月間、同国がスイングプロデューサー（生産供給の調整役）となっている。ペルーは天候と社会情勢の両方が正常に戻ったことが輸出量の大幅増加に繋がった。2022年12月当時、天候不順による収穫期間の長期化と断続的な降雨により乾燥プロセスが妨げられ、2022/23年度の生豆供給量が減少し輸出は大きくマイナス影響を受けた。一方、ディナ・ボルアルテ大統領政権とペルー議会に対する一連の政治的抗議活動は物流上の問題を引き起こした。これらの出来事により2022年12月の輸出量は41.5%減少し、12月としては2015年以来の低水準となった。

アフリカ地域の12月の輸出量は、2022年12月の93万5,000袋に対して0.5%減少し94万袋だった。2023/24年度経過3か月累計は、前年度同時期の318万袋に対して4.2%減の305万袋だった。地域の主要生産国であるコートジボワール、ケニア、タンザニアの輸出量はそれぞれ52.0%、40.8%、56.6%の大幅な増加を示しているが、地域合計としての輸出量が微減となっている背景には、アフリカ最大の輸出国であるウガンダの輸出量が4.2%減少していることがある。

メキシコおよび中米地域の12月の輸出量は、2022年12月の60万袋に対して6.0%増の63万袋だった。2023年10月から12月までの3か月累計は、前年度同時期の141万袋に対して3.6%増の146万袋だった。グアテマラ、ホンジュラス、メキシコが地域の輸出量増加を牽引しており、それぞれ30.9%、8.6%、31.2%増加した。一方、コスタリカ、エルサルバドル、ニカラグアの輸出量はそれぞれ37.7%、61.2%、14.4%の減少となったことから、2023年12月の地域全体の輸出量増加は比較的僅少に止まった。

アジアおよびオセアニア地域の12月の輸出量は、前年同月に対して5.7%増加の488万袋だった。地域の主要生産国3か国のすべてが輸出量増加に貢献し、インドネシア、インド、ベトナムの輸出量はそれぞれ8.5%、3.9%、4.8%増加した。インドネシアに関して、2023年12月の輸出量増加は降雨影響による供給上の問題に直面していた同年8月以来である。2023/24コーヒー年度の生産量は、2023年4月から5月にかけての降雨によりコーヒーチェリー（完熟期）が被害を受けていることから、前年度の1,198万袋から1,000万袋へ16.6%減少すると推定されている。12月の輸出量が比較的高い増加率を示しているのはソリュブルコーヒーによるもので、その輸出量は2022年12月の4万袋から2023年12月には48万袋と12倍以上増加した。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-December) 図 8: 生産地域別輸出量（10-12月）



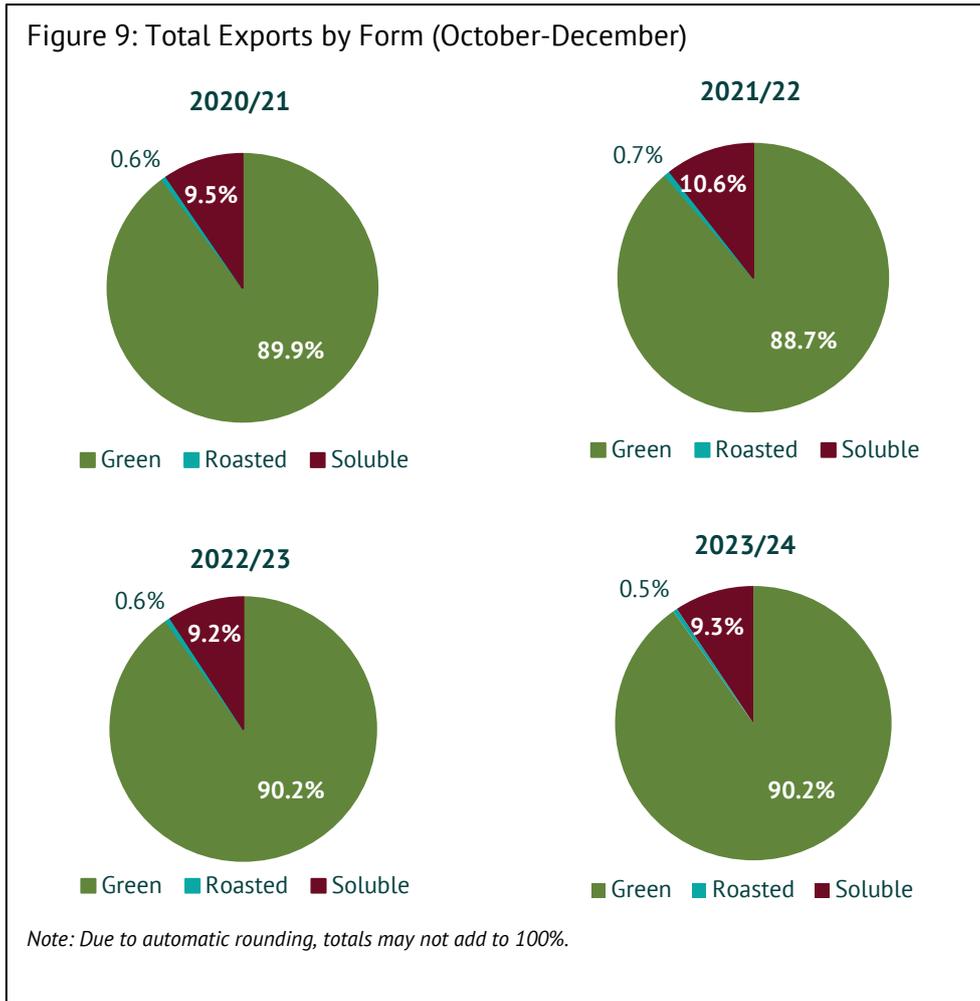
形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの輸出量は、2022年12月の99万袋から2023年12月は25.7%増加し124万袋だった。2023/24コーヒー年度経過3か月の輸出量は302万袋で前年度同時期の278万袋に対して8.2%増加した。

コーヒーの総輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは2023年12月時点で9.3%で前年同時期の9.2%から増加した。ブラジルはソリュブルコーヒー最大の輸出国で2023年12月の輸出量は35万袋だった。

焙煎豆の輸出量は2022年12月の64,204袋に対し2023年12月は15.0%減の54,560袋だった。2023/24コーヒー年度の経過3か月の累計輸出量は、前年度同時期の19万袋に対して17万袋だった。

図 9: コーヒー形態別輸出量 (10-12月)



生産量と消費量

2022/23コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は0.1%増加し1億6,820万袋となった。増加率の伸び悩みは、世界のコーヒー生産地域が、拡大するアメリカ大陸地域と縮小するそれ以外の地域にハッキリ分かれてきた、という地域レベルでの大きな変化を裏付けている。

アジア・オセアニア地域とアフリカ地域の生産量は、それぞれ4.7%減の4,984万袋と7.2%減の1,790万袋となっているが、これは悪天候が当該地域の主要生産国、特にベトナム、コートジボワール、ウガンダに悪影響を及ぼしたことが原因と考えられる。両地域の生産量の減少は、アメリカ大陸、特に南米の4.8%増加が完全に埋め合わせた。これは主にブラジルの隔年結果による8.4%の生産量増加によるものである。アメリカ大陸全体の合計生産量は1億500万袋に達している。

アメリカ大陸に所在する生産国とそれ以外の生産国という二極分化は、アラビカとロブスタの生産量の動向にも反映されており、前者は1.8%増の9,400万袋、これに対して後者は2.0%減の7,420万袋だった。

今後を展望すると、2023/24コーヒー年度の生産量は5.8%増の1億7,800万袋となり、アラビカ生産量は1億220万袋に、またロブスタの生産量は7,580万袋に増加すると予想されている。

2021年7月に発生した降霜の影響は収束・改善を続けており、隔年結果はブラジルのアラビカ生産量見込みに大きな影響を与えるだろう。2023/24コーヒー年度は裏年としては例外的なシーズンになることが予想されている。前年度は平均的な表年だったが、これに続いて、それを上回る程の良好な裏年になるとの見方が大勢を占めている。2022年に初めて指摘され2023年も続く悪天候は、2023/24年度の実績にマイナスの影響を与えると見込まれる。予想されるエルニーニョ現象は、アジア、特にインドネシアなどの生産量見込みを弱気にさせている。一方、ベトナムは灌漑の普及により降水量減少の影響が緩和されるため、より乾燥した暑い気候の恩恵を受けることが出来よう。

世界のコーヒー消費は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた様々な問題の解消に向け対処を続けている。コロナと言う外部ショックに対して、コーヒーの消費動向は過去に見られたパターンに準じて推移してきたことから、2022/23年度の消費量も、増加率は低下するにしても消費数量そのものは僅かながら増加するとの予想だった。しかし、実際には世界のコーヒー消費量は2.0%減の1億7,310万袋となった。

2022/23コーヒー年度の消費量は、生活費の高騰、可処分所得の減少、長期にわたる在庫の取り崩しの影響により、これまで経験したパターンが忠実に再現されることはなかった。コーヒー消費の弾力性は比較的低いにもかかわらず、困難な世界経済環境がコーヒーの消費にマイナスの影響を及ぼしたと考えられる。世界のインフレ率は2021年に9.4%と過去最高を記録したが、欧州連合、英国、米国における基準金利は2023年9月末時点で平均4.9%となり、2000年の平均5.8%以来の高水準となった。同時に、欧州コーヒー連盟が報告した在庫の大幅な取り崩し（ドローダウン）、および、米国インターコンチネンタル取引所に保管されている在庫の減少により、その合計在庫数量は1,450万袋から980万袋に480万袋減少している。このドローダウンにより、国際市場でのコーヒー調達の必要性が減少した可能性があり、2022/23年度の世界のコーヒー消費率の低下と異常さとして反映されている。

2023/24コーヒー年度の世界コーヒー消費量見通しは、世界経済が3.0%以上の成長を続けること、およびコーヒー業界が在庫の大幅な取り崩しの回復・積み増しに向けて対応するという仮定に基づいている。これは今後のコーヒー需要に見かけ上の消費のプラスとして反映されよう。その結果、世界のコーヒー消費量は2.2%増の1億7,700万袋になると予想される。非生産国が全体の増加に大きく貢献しており、この非生産国グループのコーヒー消費量拡大は2.1%と見込まれる。

その結果、2023/24コーヒー年度の世界コーヒー市場の需給バランスは100万袋の供給超過と予想される。

この見通しは、国際コーヒー機関(ICO)事務局の統計セクションの最新出版物であるCRO(Coffee Report and Outlook、コーヒーレポートと展望)から引用されている。CROは、最近の世界のコーヒー業界を動かす要因についての洞察を提供し、近い将来業界を動かす潜在的な出来事を抽出している。CROは、ICO Web サイト (www.icocoffee.org) からダウンロード可能で、詳細については統計セクション (stats@ico.org) までお問い合わせください。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
Aug-23	154.53	187.55	186.73	154.66	124.62	156.56	111.34
Sep-23	153.13	184.98	183.52	154.19	123.89	153.55	109.14
Oct-23	151.94	185.97	183.95	155.52	118.83	155.91	105.40
Nov-23	161.53	195.85	197.18	169.25	122.63	170.25	110.45
Dec-23	175.73	210.68	210.76	185.23	135.47	186.67	123.91
Jan-24	176.41	205.62	203.30	179.32	148.47	183.06	135.84
% change between Dec-23 and Jan-24							
	0.4%	-2.4%	-3.5%	-3.2%	9.6%	-1.9%	9.6%
Volatility (%)							
Dec-23	10.2%	10.8%	10.9%	12.6%	9.2%	13.2%	10.0%
Jan-24	10.1%	10.9%	11.9%	12.2%	9.9%	13.0%	11.4%
Variation between Dec-23 and Jan-24							
	-0.1	0.1	1.0	-0.4	0.7	-0.2	1.4

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
Aug-23	0.82	32.89	62.93	32.07	62.11	30.04	45.23
Sep-23	1.46	30.79	61.09	29.33	59.63	30.30	44.41
Oct-23	2.02	30.45	67.14	28.43	65.12	36.69	50.51
Nov-23	-1.33	26.60	73.22	27.93	74.55	46.62	59.81
Dec-23	-0.08	25.45	75.21	25.53	75.29	49.76	62.77
Jan-24	2.32	26.29	57.15	23.98	54.83	30.85	47.22
% change between Dec-23 and Jan-24							
	-2992.5%	3.3%	-24.0%	-6.1%	-27.2%	-38.0%	-24.8%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出货量

	Dec-22	Dec-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2022/23	2023/24	% change
TOTAL	10,708	12,168	13.6%	30,348	32,418	6.8%
Arabicas	5,934	6,885	16.0%	18,359	20,023	9.1%
<i>Colombian Milds</i>	1,131	1,197	5.9%	3,121	3,427	9.8%
<i>Other Milds</i>	1,452	1,638	12.8%	4,428	4,745	7.2%
<i>Brazilian Naturals</i>	3,351	4,050	20.8%	10,810	11,851	9.6%
Robustas	4,775	5,284	10.7%	11,989	12,395	3.4%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23	Aug-23	Sep-23	Oct-23	Nov-23	Dec-23	Jan-24
New York	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58	0.57	0.49	0.44	0.32	0.28	0.27
London	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89	0.58	0.73	0.67	0.34	0.57	0.48

In million 60-kg bags